

議会だより かみやま

第69号

2026.8.15

6月定例会

第29回 神山町高齢者芸



●行政等の報告	2頁
●6月定例会	3頁
●令和7年度補正予算、令和8年度補正予算	4頁
●6月定例会一般質問	5～8頁
●全国町村議会議長会研修レポート	9頁

行政等の報告

徳島県消防操法大会

5月31日に開催され、広野分団から選手5名が、3月上旬から訓練を開始し、大会に臨んだ。神山町消防団を代表して大会に臨んだ選手団の方々また選手を陰ながら支えたご家族に、敬意と感謝を申し上げます。

台風6号

6月2日から3日にかけて、最接近した台風6号は、当町に大きな被害はなかったが、広野で降雨量は390ミリとなり、災害状況は、林道奥屋敷線1箇所、町道野間殿川内線など3箇所、農地農業用施設では、一ノ坂など3箇所の被害が報告され、対応している。

防犯カメラ設置補助制度

徳島県にて、防犯対策強化目的とし創設された。当町も、この制度を活用し、通学時における安全確保を図るため、神山町交通安全保護者の会の協力をいただき、防犯カメラの設置を進める。

宝くじ助成事業

今年度は、広野地区チャレンジ神山推進協議会へ地域活動用の音響設備。上分地区チャレンジ神山推進協議会へ防災用炊き出しセット、テント、イスが採択された。イベント活用、地域防災意識の向上、本町の活力向上に資するものである。

神山温泉

神山温泉は、源泉タンク及び、配管の老朽化により漏水。水道水を代用し、入浴料の半額で対応。利用する皆様に迷惑をかけているが、源泉タンク、配管の改修設計業務をし、早急に対応していく。

神山小麦の生産

事業実施主体が国に申請していた、地域経済循環創造事業、「ローカル10,000プロジェクト」が採択され、収穫した小麦の製麦施設などの整備に係る補助が決定した。神山小麦の取り組みは、遊休農地の解消、新たな神山町の農業、地域経済循環に資するものである。

広域斎場整備事業

神山町・石井町・板野町の3町で進める、広域斎場整備事業について、令和8年5月から排水工、及びフェンス基礎工に着手し、造成工事は、7月頃から着手する予定。今後の予定は、秋頃から本体基礎工事に着手する予定。周辺環境整備事業の、石井町道改良工事は、第1期工事区間の整備が完了し、舗装工事を年度内に施工する予定。

国の経済情勢

中東情勢の緊迫化の懸念が、価格上昇の要因となっている。国民生活や事業活動の影響を緩和する支援策を講じ、当町

も、国の動向を注視し、町民生活の影響把握に努める。

徳島県の動き

人口減少、自然災害リスク、物価高騰対応を重要課題とし、「未来に引き継げる徳島」の実現を方針とし、近年最大規模となる5,358億円の当初予算となる。県民生活の安全・安心の確保、防災・減災対策、子育て・教育支援、地域産業の振興、デジタル化の推進、生産性向上に向けた投資など、県勢発展を進める。

神山町、県の道路整備事業

一般国道438号上分地区に3,000万円、県道北馬喰草の道路拡幅、長代の道路拡幅に2,000万円、西上角歩道整備に500万円、井ノ谷道路拡幅に3,300万円、県道二ノ宮から地ノ平の道路拡幅、県道黒口の道路拡幅に2,000万円、県道一ノ坂道路拡幅に3,500万円、県道鬼籠野から阿野の道路拡幅に800万円の予算が配分されている。

令和7年度出納閉鎖に伴う決算状況

一般会計は、歳入歳出差引額が、4億237万4,196円となり、実質収支額は、2億1,401万5,196円の黒字となる。実質収支額の標準財政規模に対する割合も6・1%でおおむね適正な割合となった。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計は、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は黒字となる。簡易水道事業会計は、公営企業会計となっており、3月末日の決算となる。事業支出、資本的支出の合計は、4億3,687万4,125円という決算になった。

財政状況の厳しい中、各会計とも基金会計からの大幅な繰り入れもなく、適正な執行が出来た。

令和7年度地方交付税

一般会計歳入のおよそ4割を占める、普通交付税は前年度比1億1,077万2,000円の増額となった。要因は、国の物価高騰に対する単位費用の見直し、公債費の算定増加などが考えられる。また特別交付税は前年に比べ1,252万8,000円増額となり、約4・3%の増額となっている。

一般会計補正予算

令和7年度からの繰越金、財政調整基金積立金、地域経済循環創造事業補助金、簡易水道事業会計補助金、神山温泉施設改修工事設計業務委託料などを計上し、簡易水道事業会計を除く、各特別会計については、令和7年度繰越金の確定による補正となっている。

令和8年6月定例会は、令和8年6月12日から19日までの8日間の会期で開催した。専決令和7年度一般会計補正予算、専決令和7年度神山町介護保険特別会計補正予算、令和8年度一般会計補正予算、令和8年度特別会計等補正予算のほか、条例の一部改正、財産の取得、農業委員会委員の任命など27議案を審議し全議案承認・可決・同意した。

予 算

- 議案第25号 専決第3号 令和7年度神山町一般会計補正予算（第8号）
- 議案第26号 専決第4号 令和7年度神山町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 議案第29号 令和8年度神山町一般会計補正予算（第1号）
- 議案第30号 令和8年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第31号 令和8年度神山町介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 議案第32号 令和8年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 議案第33号 令和8年度神山町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

条 例

- 議案第27号 専決第5号 神山町税条例の一部改正
- 議案第28号 専決第6号 神山町国民健康保険税条例の一部改正

その他

- 議案第34号 財産の取得〔防災備蓄倉庫〕
- 議案第35号 財産の取得〔防災用品〕
- 議案第36号 財産の取得〔避難所支援車トラック〕
- 議案第37号 財産の取得〔職員用パソコン〕
- 議案第38号 財産の取得〔小学校ネットワーク機器〕

人 事

- | | | | |
|---------|---------------|----------|----------|
| ●議案第39号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町阿野 | 森本 守 氏】 |
| ●議案第40号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町神領 | 河口 正紀 氏】 |
| ●議案第41号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町阿野 | 楠 達也 氏】 |
| ●議案第42号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町阿野 | 相原 利章 氏】 |
| ●議案第43号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町神領 | 東 圭祐 氏】 |
| ●議案第44号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町阿野 | 原田 健義 氏】 |
| ●議案第45号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町下分 | 加藤 宏行 氏】 |
| ●議案第46号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【徳島市上八万町 | 松原 和久 氏】 |
| ●議案第47号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町下分 | 岡本 悦男 氏】 |
| ●議案第48号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町下分 | 山本 實義 氏】 |
| ●議案第49号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町鬼籠野 | 藤森 正三 氏】 |
| ●議案第50号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町鬼籠野 | 中川 雅彦 氏】 |
| ●議案第51号 | 神山町農業委員会委員の任命 | 【神山町神領 | 柳澤 正和 氏】 |

一般質問

高橋義英議員、仁志哲也議員、白土義信議員、佐出由恵議員

令和7年度補正予算（専決）

議案第 25 号専決第 3 号 ■令和7年度一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ 2億8,831万円減額 予算総額 75億7,704万円

歳出	総務費	自動車運行費 タクシー利用助成事業負担金	△ 340 万円
		企画費 財政調整基金積立金	△ 5,507 万円

議案第 26 号
(専決第 4 号)

令和7年度介護保険特別会計補正予算 (第4号)

3,930 万円減額 10 億 278 万円

令和8年度補正予算

議案第 29 号 ■令和8年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ 6,549万円増額 予算総額 64億8,949万円

歳出	総務費	財産管理費 防犯カメラ設置補助金	125 万円
		企画費 コミュニティ助成事業補助金	250 万円
		財政調整基金積立金	500 万円
	商工費	地方創生推進費 地域経済循環創造事業補助金	2,500 万円
		神山温泉管理費 神山温泉施設改修工事設計業務委託料	856 万円
		消防費 災害対策費 コミュニティ助成事業補助金	190 万円

議案第 30 号

令和8年度国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

1,080 万円増額 7 億 8,498 万円

議案第 31 号

令和8年度介護保険特別会計補正予算 (第1号)

1,897 万円増額 10 億 3,419 万円

議案第 32 号

令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

112 万円増額 1 億 5,090 万円

議案第 33 号

令和8年度簡易水道事業会計補正予算 (第1号)

資本的収入 2,200 万円増額 6 億 4,538 万円
資本的支出 2,300 万円増額 6 億 8,639 万円

一般質問



高橋義英 議員

高橋議員の録画映像はこちらから

●質問1●

異動先での課長の考えについて

住民サービス・教育・防災福祉・農業・公金管理、それぞれの分野における課題の認識と今後の取り組みについて伺う。

●答弁● 住民課長

高齢者への支援と、デジタル活用支援、誰もが安心して行政サービスをうけられる体制づくりに努めていく。

●答弁● 教育次長

ICT教育の充実と、よりよい学習環境の整備に取り組んでいく。

●答弁● 健康福祉課長

避難行動要支援者130人に対し個別避難計画作成率100%。地域における防災訓

練も含め、実効性向上につなげていく。

●答弁● 農業委員会事務局長

耕作放棄地の発生防止や農地の適正管理に対する意識啓発を図りながら、農地中間管理機構の活用を推進し、農地集積を進めていく。

●答弁● 会計管理者

公平性・透明性の確保を基本に、適正な公金管理と信頼される会計事務の運営につとめる。

●質問2●

神山町でのスクールバスについて

神山町のスクールバスの安全管理体制はどのようになっていくのか。

●答弁● 教育次長

委託業者による日常点検・定期点検、運転手の健康診断、アルコールチェック、運転適性診断が実施されている事、また事故や災害が発生した時には、教育委員会・学校・関係機関が連携しながら、安全確保を最優先に対応することとしており、今後、委託業者との連携を強化し、児童生徒が安心して利用できる運行体制の確保に努める。

●質問3●

地方創生について

設立から10年を迎えるつなぐ公社、現在までの10年をどのようにに総括しているのか。また、目標人口に対し、現在の進捗状況をどのように評価しているのか。成果を図る具体的な指標は何か。目標が達成できなかった場合、町としてどのような責任をもって取り組んでいくのか。

●答弁● まちづくり戦略課長

10年の総括としては、人口減少のスピードを緩和し、まちの新謝代謝を生み出す土壌づくりによって一定の成果があったと評価している。2060年人口3,000人を維持する目標に対して、現状は樂觀できる状況にはない。社会増減では改善が見られ、国が示す将来推計よりは上向いているものの、目標ラインには到達していない。

●答弁● 町長

責任の所在については、つなぐ公社に委託している事業は町の戦略の重要な一部であり、公社任せにするのではなく、町としてのガバナンスをしっかりと効かせ、事業の統廃合や戦略転換

を行う覚悟を持って臨んでいく。

●質問3●

神山町の医療について

地域医療機関の閉院を受け、今後の地域医療体制の確保、移動手段も含め、高齢者が安心して暮らせる環境をどのように守っていくのか。

●答弁● 健康福祉課長

市町村においては、介護保険事業の運営主体として、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に取り組む。

●答弁● 住民課長

本町では、まちのクルマ・bts利用助成事業を実施し、日常生活に必要な移動を支援しているところで、早期受診や継続的な治療につながり、地域医療を支える重要な施策と考えている。

●答弁● 町長

地域の医療機関や医師会、徳島県と連携を図りながら、保険あつて医療なしという状態にならぬよう、5年10年先を見据えた環境の確保に努めていく。

一般質問



仁志哲也 議員



仁志議員の録画映像はこちらから

●質問1● ごみ収集対策について

本町のごみ収集行政について日頃より尽力いただいているが、一部では不法投棄も見受けられる。そこで本町におけるごみの各品目・収集量、再生資源搬出による収益、生ゴミの収集サービスの開始時期と月間収集回数について質問する。

答弁 住民課長

令和7年度のごみ収集量の実績については、燃やすごみ、リサイクルプラ、生ごみ、資源ごみ、粗大ごみ、ペットボトル、カン、ビン、合計573.1トン。令和6年度から人口は2%減少、ごみ収集量は7%減少となっており、住民の分別意識の

向上や減量化施策の効果が現れている。

令和7年度資源ごみやペットボトルの有償収益は5,353,680円。今後も分別の徹底や資源化の推進に努め、循環型社会の形成とごみ処理経費の抑制につなげていきたい。

生ごみの収集サービスは平成28年12月から開始、現在は毎週金曜日に収集。生ごみの野外放置や不法投棄がないよう、必要に応じて不法投棄防止看板の設置、広報紙やホームページ等による啓発活動などを実施していく。

●質問2● 鳥獣対策室について

鳥獣対策室発足前後におけるシカ・イノシシ・サルの捕獲体制の変化及び捕獲実績、鳥獣対策室が所管する補助金の種類とその成果について伺う。

答弁 産業観光課長

捕獲体制について、会計年度任用職員1名増員、3名体制で業務に当たる。以前はイノシシ及びニホンジカに大型捕獲檻を活用していたが、鳥獣対策室発

足後は見回り体制を確保できるようになり、くくりわななどを活用している。令和7年度のくくりわなによる捕獲は、ニホンジカ5頭、イノシシ2頭。

鳥獣対策室が所管する補助金の種類については3種類ある。令和7年度、防護柵などの資材購入に対する補助金は66件の申請があり総額665万1,000円、狩猟免許取得に対する補助金は計2件に対し7万3,800円、捕獲班員が使用する箱わなの導入に対する補助金は3基分の申請に10万9,000円を交付。

再問

近年では鳥獣が人家周辺で目撃される機会も増えていると伺い、生ごみの野外放置や不法投棄等の影響は否定できないのではないかと心配される。

生活環境側からの鳥獣対策についてどのように考えているのか、焼却処理負担軽減及び生ごみ対策研究の一環として業務用消滅型生ごみ処理機の試験導入や調査研究を行う考えはないか答弁を頂きたい。

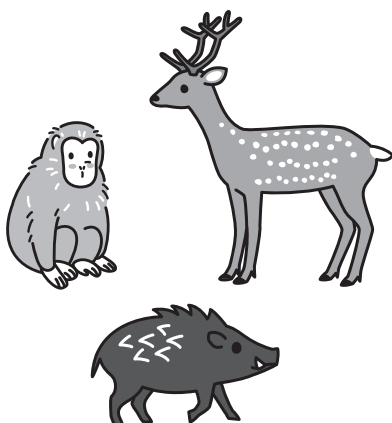
答弁 産業観光課長

議員指摘のとおり、生ごみの

野外放置や不適切な管理は、野生動物を人家周辺へ誘引する一因となる可能性がある。本町では放任果樹や、ひこばえなどへの対策も重要であり、地域全体で野生動物を寄せ付けない環境づくりを進めていくため周知啓発に努めていく。

答弁 住民課長

業務用消滅型生ごみ処理機について、本町ではごみの分別や減量化が進められ、生ごみ処理機の設置に対する補助金も交付しており、現時点では試験導入を行う考えはないが、先進自治体の導入事例や国・県の補助制度の活用可能性について調査を進めていきたい。



一般質問



白土義信 議員

白土議員の録画映像はこちらから

●質問1● 新たな防災気象情報運用の下で

令和8年5月29日から、新たな防災気象情報の運用が開始された。6月2日には台風6号が徳島県に最接近し、神山町も400ミリ近くの大雨となり、21時36分にレベル3大雨警報が発表された。

警戒レベル3は、高齢者等の避難に当たるが、夜間、大雨の中での避難は危険を伴うが、町としてどのように対応するのか。

また、警戒レベル4の避難指示が発表されるときは危機意識については、町としてどのように周知を含め、新たな気象情報の周知を行っていくのか。

答弁

総務危機管理課長

気象庁において、新たな防災気象情報の運用が開始されている。

これまでも大雨警報や洪水警報などが発表されていたが、新しい防災気象情報では、警報、注意報の情報名に

レベルが付記され、避難判断の目安となっている。

●警戒レベル1では、今後の気象情報に注意する段階。

●警戒レベル2では、大雨注意報などが発表される段階。

●警戒レベル3では、高齢者の方など、避難に時間のかかる方は避難を開始する段階。その他の方も危険を感じた場合は自主的に非難する段階。

●警戒レベル4では、危険な場所にいる方は全員避難する段階。

本町としても、警戒レベル4は、災害発生の危険性が非常に高い状態であると認識しており、住民の皆様には重要な避難情報として受けとめていただきたいと考えている。

●警戒レベル5では、すでに災害が発生または切迫している状況。

命を守るための最善の行動をとっていただく必要がある。

夜間、危険を伴う大雨の中での避難について、町としてどのような対応をするのかということだが、夜間、大雨または暴風の中、避難することはかえって危険を伴う場合もあるので、日中、明るいうちに雨風が強くなる前に避難していただくよう防災無線などで、町民の方に周知しているところである。

警戒レベル4の避難指示が発令されたときの危機意識については、大雨土砂災害の警戒レベル4になると、避難所まで移動することが大変危険になるの

で、ご自宅2階の安全な場所へ垂直避難していただくか、崖から最も離れた部屋で身の安全を確保していただくことを防災無線などで周知していく。

避難情報は発令されてから避難を始めるのではなく、危険が高まる前に行動することが重要。そのため本町としては、徳島気象台と連携し、気象情報や河川の水位、土砂災害警戒情報などを総合的に判断し、必要に応じて早い段階から高齢者等避難準備の呼びかけを行うとともに、警戒レベルに応じた避難行動を防災無線、ホームページ、サークルアプリなどを通じて呼びかけ、安全安心なまちづくりに取り組んでいく。

再問

今回の台風6号の初動の対応はどのようなであったか。

答弁

総務危機管理課長

台風6号への対応としては、6月1日各所属長に台風状況の説明を行い、避難所対応する職員の準備などについて指示している。

2日には、徳島気象台と連携を図りながら、進路、速度、降雨量、風速など、気象情報の予測から町民の皆様が日中の明るいうちに安全に避難していただくよう、13時5分と17時5分に自主避難を防災無線で呼びかけ、またサークルアプリ、ホームページでも周知した。大雨警報のレベル3が21時36分に発令されていたが、気象情報による雨の見通し河川の水位が氾濫注意水位である

3・9メートルに達していなかったこと、また夜間における避難所までの移動がかえって危険であることから、防災無線で避難を呼びかけることは行わなかった。

今後においても町民の皆様の安全を最優先に気象情報を確認しながら、雨風が強くなる前の日中避難を呼びかけるとともに、夜間において大雨土砂災害のレベル4以上となる警報が発令された場合は屋外に出ることがかえって危険となるので、ご自宅での安全な場所に避難していただくよう、防災無線等を通じて皆様にお知らせしたいと考えている。

再問

気象台との連携はどのようなのか。

答弁

総務危機管理課長

気象台との連携だが、今回の6号台風では接近する前日である1日の14時に徳島気象台から台風6号に関するオンライン説明会があり、総務危機管理課の担当職員が参加している。また台風が近づいてきた2日の14時からは、徳島気象台と県、市町村がオンラインによる常時接続で台風の予測、警報発令等の予測など、徳島気象台から情報を受けているところである。変化する状況に対応しなければならぬため、その時々判断を要することになるが、本町としては徳島気象台、県など関係機関と連携しながら、町民の皆様の安全を最優先として防災に取り組んでいく。

一般質問



佐出由恵 議員

佐出議員の録画映像はこちらから

●質問1● 各種集会所について

利用者の減少や立地条件による高齢者の利用困難、建物自体の老朽化、地域の集会所数減少などの課題が顕在化しており現在の利用状況や管理状況を町は把握しているのか。町として維持管理や修繕の方針や修繕や改修に対する補助制度について尋ねる。

答弁 総務危機管理課長

多目的研修集会所が町内に14ヶ所、地域集会所として消防施設共用で16ヶ所、コミュニティ消防センターを合わせ47の各種集会所が町内にあり、集会所の管理運営は、それぞれ設置地区の集落が行っている。

昭和50年代を中心に整備され、地域住民の交流や各種会合、防災活動などの拠点として重要な役割を果たしてきたが、利用者の減少や施設管

理の担い手不足が課題となっている地域もある。

現在集会所の利用状況について、町は一律に把握していないが、地域によっては定期的な会合や地域行事などに活用される一方で、利用頻度が低下している集会所もあると認識している。

今後は地域の方々にお話をお伺いしながら、現状把握に努めたい。

また、集会所の統廃合については、利用状況のみをもって、一律に統廃合を進めることは適切でないと考えている。

補助制度については地域集会所施設の改築費等に係る補助金交付要綱により、地域集会所施設、消防施設と共用している地域集会所施設や多目的研修集会所等が対象。

集会所の新築については、事業費の3分の1（上限は200万）、増築、改築または解体は、事業費の30万以上の事業を対象に補助。

消防施設との共用施設は延べ床面積60㎡までは全額、それを超える部分については、2分の1を補助（上限額は100万円）。その他の集会所は事業費の2分の1を補助（上限額は100万円）ケーブルテレビへの加入費用の3分の2、畳の張替えや新調も補助対象。消防施設と共用

している集会所は、消防施設分を全額、それ以外の部分は3分の1（上限額は20万）としている。その他の集会所施設については、経費の3分の1（上限額は10万）を補助。

今年度から新たに空調設備の新設改修に係る経費の2分の1（上限額は40万）を追加し、地域の皆様のご負担軽減に努めている。

再問

地域の大切な財産である集会所を一日も長く、存続させるために維持費負担のため水道基本料金の減免等を実施してはどうか。

答弁 総務危機管理課長

水道事業は、利用者間の公平性を確保する必要もあるため、特定の施設だけを対象に水道料金の減免を直ちに実施することは難しい。

町民の安心と活力ある地域づくりの観点から、地域住民のニーズを踏まえた、新たな活用方法の検討や、他の公共施設との連携、廃止や統廃合の可能性について検討を始める時期が来ているのではないか。

●質問2●

エアコンについて

エアコンの価格高騰が話題となっているが、神領小学校、広野小学校、旧一ノ坂分校のエアコン設置工事計

画の進捗状況と価格高騰の影響を尋ねる。

答弁 総務危機管理課長

令和9年4月から、国の制度改正による省エネ基準の見直しに伴い、価格への影響が生じる可能性は認識している。

今年度、広野小学校、神領小学校の両体育館にエアコンを設置するため、当初予算に実施設計業務の委託料を計上している。

今年度に広野小学校の図工室、鬼籠野生活改善センター、指定避難所となっている旧鬼籠野小学校一ノ坂分校にエアコンを設置する予定。

旧鬼籠野小学校一ノ坂分校の進捗状況は現在、入札に向け仕様書作成に取り組んでいる。

農村環境改善センター2階の会議室、放課後児童クラブ「すだちっ子クラブ」が老朽化している。

今後、動向を注視して計画的な整備更新に努めたい。

答弁 教育次長

広野小学校体育館及び神領小学校体育館の空調設備設置工事の設計委託は7月入札、委託期間は契約締結後から11月末ごろまでを予定している。

財政面での負担軽減に取り組んでいきたい。



5月26日、東京国際フォーラム（千代田区）において「令和8年度町村議会議長・副議長研修会」が開催され、当議会から議長・副議長が出席しました。会場には全国から約2,000人の町村議会正副議長と関係者が一堂に会し、地方創生や人口減少対策など、いま各自治体が直面している重要課題の解決に向け、熱心な研修が行われました。

■講義1：地方創生の先行き ～地域未来戦略とともに～

【講師】（一社）地域活性化センター理事長 林崎 理 氏

国の制度（縦の糸）と、自治体や住民の創意工夫・地元愛（横の糸）を掛け合わせることで、未来に希望を持てる持続可能な「地方創生」が実現すると説明されました。

また、国全体の産業政策だけでなく、当町のようなローカル産業が生産性を上げ、独自の「付加価値」を高めていくことが今後の地域戦略において極めて重要であると強調された。

▼講演のエッセンス（図解イメージ）

【縦の糸：国の制度】
国家レベルの法・税制、補助金、技術開発
×
【横の糸：地域の力】
住民の理解・地元愛、地域経済循環、
創意工夫

【織りなす布】
Ⅱ
『地方創生』
豊かさと幸せを実感でき、
未来に希望を持てる持続可能な地域社会

ポイント 本町のローカル産業も「生産性」と「付加価値」を高める！

■講義2：人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践

【講師】東海大学教養学部 人間環境学科 万城目正雄 氏

国内の人手不足が過去最高水準となる中、外国人労働者は急増しており特にここ10年は町村部での伸びが顕著である現状が示されました。

令和9年春から始まる新制度「育成就労」への移行により、従来の国際貢献から「国内の人材確保・育成」へと舵が切られます。今後、地方が選ばれる地域になるためには職場だけでなく地域全体でのコミュニケーションや生活支援など、共に生きる「多文化共生」の実践が不可欠であると強調されました。

▼講義から見る、知っておきたいデータと変化

【データで見る現状】
・現在：外国人労働者は257万人超。
2050年には700万人規模へ。
・町村部の急増：一部の町村では10年間で「10倍以上」に増加！

【国の大きな制度改正】
・「育成就労制度」へ移行
(令和9年4月スタート)
⇒単なる労働力ではなく、日本で「人材を育てて確保する」へ

本町の課題

技能実習から「選ばれる地域」へ。生活支援や共生の体制整備（準備）

神山の風景

第24回下分七夕飾りイベントが7月4日に開催されました。ダンスやマーチング・阿波踊りなどの催しや夜店の出店などがあり、大勢の方々に会場は賑わっていました。

(白土義信)



6月26日、神山町地区農業生活指導班の事業として広野小学校において日扇の花育が行われました。児童により生けられた日扇の花は、広野小学校、神山温泉、道の駅、役場庁舎に飾られました。一般的には「檜扇」と書かれますが、神山町では「日扇」として出荷され、京都の祇園祭に魔除けの花として欠かせない祭花となっています。(佐出由恵)

議会の動き

■8月

21日 議会運営委員会

25日 四国新幹線整備促進進期成会令和8年度東京大会(東京都)

26日 徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会(東京都)

■9月

上旬 9月定例会

下旬 議会広報調査特別委員会

29日 四国地区町村議会議長会議員研修(高知市)

■10月

8日 四国四県町村長・議長大会(徳島市)

■11月

11日 第70回町村議会議長全国大会(東京都)

12日 令和8年度議長研修(東京都)

表紙写真説明

6月3日に開催された、第23回神山町高齢者芸能大会で高浜獅子舞保存会の皆さんによる伝統芸能の獅子舞が披露されました。

(森 一博)

つぶやき



私が、いつも目にする街並みには桜が散り、緑のまぶしい木々と、穏やかな鮎喰川があります。嵐の日には荒々しく、自然の力を教えてくれます。

このごろは、神山のいたるところで棚田に、水が張られ、立ち並ぶ苗をそとよけて水面を覗けば豊かな山並みと、そして美しい青空が写し取られています。

この時期に人が育む命の代表といえやはり稲穂でしょう。

人が培ってきた知識と経験が、豊かな水と土を恵みとして、きらきらとした穂並みを作り、秋の頃には黄金に輝き収穫を待つのです。

米のほかにも、すだちや梅、野菜と神山町では多くの命が育まれています。

今日も食卓に並ぶ恵みに感謝しながら、手を合わせ「いただきます」

(志甫 守)